



- 講師：牛田 肇
(武蔵野デジタル出版株式会社 代表取締役)
- 日時：2017年6月30日(金)19:00~21:00
- 会場：森の共育実修所「点塾」
- 参加人数：11名

[プログラム]

- 多くの人が文章が苦手な理由
- 本の書き方を活かすことのできるビジネススキルアップ
- 本の書き方で一番大切なこと
- すぐ使える「文章メイクアップ術」
- ビジネスで求められる伝わる文章の押さえどころ
- 本の書き方をビジネスに活かす方法



[講師より]



武蔵野デジタル出版株式会社
代表取締役
牛田 肇

本の書き方を活かしたビジネススキル向上 本の書き方講座 前編

今年の特別講座の一本目、「本の書き方講座 前編」が開講になりました。講師は東京都武蔵野エリアで自費出版プロデュースを手掛ける武蔵野デジタル出版株式会社 代表の牛田肇さん。もとは大手企業の監査やマーケティングのコンサルタントをしておられた方です。これまで何万枚という書類に目を通してこられた経験から、伝わる文章の書き方をレクチャーしていただきました。

「みんな国語で正しい日本語を習っているのに、『文章を書くのが苦手』と思っているのはなぜか?」という説明からスタート。文章の書き方の基本的知識や、読まれやすい文章の書き方を教えていただきました。「書いた文章が事実にもとづいた客観的な視点であるかどうか」、「誰が見ても同じ理解になる合理性があるか」、ビジネス文章には必ず責任が伴うので、自分のお仕事の責任が何なのかを自覚していることが大切だと知りました。あらためて自身の書いている文章を見直す、いい機会となりました。

この度は、「本の書き方講座」にご関心を頂き誠にありがとうございます。100年の歴史ある博進堂さまにお声をかけて頂き、全てオープンにする所存で新潟に参りました。

今回、特別に6月30日の夜と7月1日の終日の2部構成として頂き、夜はビジネス向けに、「本の書き方を活かしたビジネススキルアップ」をテーマに、講演させて頂きました。

本もビジネスも「何を伝えるか」が重要で、ワークでは、「隣の人を褒める」を行いましたが、直ぐに人を褒めるといっても、相手の時計など目についたところを褒めたり、講座への参加を褒めたり、何を褒めて良いのか?と迷われる方など、人によって褒める視点の違いがかなりあることが分かりました。同時に発表後みなさんニヤニヤしていましたので、「褒める言葉」が互いの関係を良くする実感もして頂けたと感じました。



CHECK OUT CARD

「こう抜き言葉」は
ためよう。

CHECK OUT CARD

1. 基本が大事
2. 伝えたい・残したい
「想い」を多く持つことが、
本を書く上で何が「なに」
と残る。

CHECK OUT CARD

自分の文章を
書く時間を
つくりたいと思いきや。

CHECK OUT CARD

初対面の方に
好印象を持つ
てもらう方法と
して、ほめるのは
とてもいいこと
だと思いました。

CHECK OUT CARD

「責任を
持つからこそ
文書に
価値が生まれる」
というフレーズが
印象に残りました。

CHECK OUT CARD

改めて、自分の中から
言葉を生み出すこと。
言葉は「魂」のモノ。
かなあ。



CHECK OUT CARD

文書に責任が
伴っていないか？
否か？

CHECK OUT CARD

このように
思っている
お話を
聞かせて
ください。

CHECK OUT CARD

当日の前には
返さなくても
大丈夫です。
ありがとうございました。
お話を伺い
ました。

CHECK OUT CARD

デジタル文章の
「責任」について
改めて考えさせ
られました。

